

演題

女性が歯科技工士を続けるために ～女性技工士と共に働くみなさんへ～

抄録

近年、若い技工士が減少している中、女性技工士の割合は増加傾向にあります。

少し前は「雇いづらい」「育てにくい」と敬遠されてきた女性技工士の労働力も軽視できないものになってきました。

本来、歯科技工は女性にとっても向いている仕事だと思います。

しかし多くの女性技工士・経営者ともに、「続け方」「雇用の仕方」を模索しているのが現状だと思います。

今回、子供が生まれてからは11年の私のたどった技工歴を軸に、産休・育休、保育園、職場復帰後の働き方、会社に協力してもらったこと、卒後教育機関、悩みと転職、これからの働き方や思い、などなど多くの若い女性技工士の皆さんが漠然と不安に思っていることや、共に働く会社の同僚・社長に知っておいてほしかったことを、私の経験を通してお話しさせていただきます。

女性に限らず、若い技工士の方や経営者の方にもそれぞれの「続け方」「学び方」「育て方」「雇用の仕方」の道を見つけ出すヒントとなれば幸いです。